

本の修理ガイド



上の写真は東海村立図書館のボランティア室から眺めた東海高校の桜です。この素敵な部屋と自由な雰囲気の中で活動が続けています。

本の修理を始めた頃はカウンターの後ろの空いた机で作業したと聞いています。それから約 15 年が過ぎたので、先輩に教わったことや失敗しながら積み重ねてきたノウハウなどを「本の修理ガイド」としてまとめてみました。

このガイドは作業をしながら気が付いたことを主に作ってきたため、市販の入門書のように全体が繋がっておらず、各項目を 1 頁から数頁にまとめて独立させています。まずは目次のタイトルに目を通して、どのような項目があるのかをおおまかに知っていただきたいと思います。

本の修理の方法に正解はなく、各人の裁量にまかされています。それをきれいに、頑丈に、早く仕上げるには、広い知識と多くの経験を積むことが大事です。この本の修理ガイドが、皆さんの知識拡大の一助になれば幸いです。

2024 年 4 月

東海村立図書館 本の修理ボランティア

目次

2024/7/10、向谷

合計 72 件

頁合計 132 頁

No.	日付	タイトル	頁数
-----	----	------	----

0. 共通 3 件 6 頁

0.1 R1	2024/1/30	本の修理ガイド（表紙）	1
0.2 R2	2024/7/10	目次	3
0.3 R0	2023/12/19	「本の修理ガイド」新規作成手続き	2

1. 入門と基礎 6 件 11 頁

1.1 R2	2022/9/30	本の修理を始められる方へ	1
1.2 R0	2022/9/28	本の修理作業の常識とノウハウなど	3
1.3 R2	2024/7/10	本の著作権 - 絵や文章の修復は図書館側に相談	1
1.4 R3	2024/1/28	一読を！ 「図書の修理 とらの巻」	1
1.5 R2	2024/1/30	入門書 「図書館のための簡単な本の修理」	1
1.6 R2	2024/2/8	本の修理、第2回講習会	4

2. 材料と工具 14 件 24 頁

2.1 R4	2022/6/20	本の修理の材料リスト	1
2.2 R4	2022/6/20	本の修理の材料の写真	4
2.3 R5	2022/6/20	本の修理用材料の購入依頼の目安	1
2.4 R1	2022/9/19	本の修理の道具リスト	1
2.5 R1	2022/9/19	本の修理の道具の写真	5
2.6 R1	2022/9/28	折れ癖の修正に「硬質ブッカー」	2
2.7 R1	2022/6/28	大判シートでない寒冷紗テープは使いやすい	1
2.8 R1	2022/6/29	チューブ入りビニール糊と和紙テープ	1
2.9 R3	2024/7/10	ページヘルパーの経年劣化と各種の情報	1
2.10 R1	2022/9/29	カッターナイフの刃折器「ボキ」と替刃	1
2.11 R1	2022/7/2	小口（こぐち）の揃えと汚れ落しに紙やすり	1
2.12 R1	2022/7/3	ボール盤（電動ドリル）を使う時の注意事項	1
2.13 R1	2022/7/4	ボール盤と目打ちで開けた穴の比較	1
2.14 R0	2022/8/26	丸背本修理治具	3

3. 損傷事例 15 件 18 頁

3.1 R1	2022/10/17	ボンドがゆるいと周辺に「くっつき」が発生	1
3.2 R1	2022/7/9	テープ貼り過ぎによる小口の不揃い	1
3.3 R1	2022/7/9	寒冷紗が剥がれたヒドイ腰くだけ	1
3.4 R1	2022/10/2	切れた寒冷紗を半分だけ取り替え	1

3.5 R1	2022/7/9	厚紙絵本の裏表紙の遊びに糊付けはダメ！	2
3.6 R2	2022/12/20	大型絵本の綴じ糸切れ	3
3.7 R2	2024/1/28	ハードカバー本の本体を背表紙に貼らない	1
3.8 R2	2024/1/30	頑丈過ぎるテープは破れの原因	1
3.9 R1	2022/7/12	本体が表紙から千切れて外れた本	1
3.10 R1	2022/7/14	ヘビー級大百科のヒドイ腰くだけ	1
3.11 R1	2022/7/14	背固め不足で楽屋裏が丸見え	1
3.12 R1	2022/7/14	セロテープの経年劣化と使用禁止のPR	1
3.13 R1	2022/7/14	見返しノド部の三角ブッカーの除去	1
3.14 R0	2022/8/20	テープまみれの糸綴じ絵本の修理	1
3.15 R0	2022/10/5	折り込み付録の収め方	1

4. 修理方法

20 件

40 頁

4.1 R2	2022/10/5	ソルベントは火気厳禁！	1
4.2 R1	2022/10/10	アジロ綴じでの分解修理方法の比較	1
4.3 R2	2024/7/10	糸鋸＋麻糸埋め込みの修理方法	1
4.4 R3	2024/1/29	糸鋸＋ぼぐし麻布（平麻）埋め込みでの修理	2
4.5 R1	2022/10/6	ハードカバー本の和紙と寒冷紗の貼り付け	1
4.6 R1	2022/7/20	綴じ方を変えた絵本の修理	1
4.7 R3	2024/1/30	「クータ」、本体と背表紙の間のつなぎ役	1
4.8 R1	2022/7/21	紙芝居のカバーの取り替え	1
4.9 R1	2022/7/21	ボンド容器のキャップ開けはマジック・マットで	1
4.10 R1	2022/7/21	厚い糸綴じ本、特にソフトカバー本の修理	1
4.11 R1	2022/7/22	製本テープを見返しのノドの補修に使わない	1
4.12 R1	2022/7/22	修理に邪魔な IC タグは移動させる	1
4.13 R0	2022/7/6	千切れを和紙テープや折り紙にて補修	1
4.14 R0	2022/8/22	折りたたみ頁や付録型紙などの破れ補修	1
4.15 R1	2022/6/25	第4回 修理講習会、染み抜きマニュアルと実施例	2
4.16 R0	2022/11/22	分厚い丸背本の修理例	3
4.17 R0	2023/11/29	ノドの補強、補修用テープ「らくとじ」の使い方	2
4.18 R2	2024/1/7	紙芝居ケースの取り替え（作業手順）改訂2	8
4.19 R0	2023/11/28	紙芝居ケースの取り替え（ブッカー貼り付けのテクニック）	1
4.20 R1	2024/7/9	2時間で仕上げる紙芝居ケースの取り替え（改訂1）	9

5. 糸綴じ

14 件

33 頁

5.1 R2	2022/5/16	糸綴じ絵本の製本の方式と分解	1
5.2 R4	2022/10/8	ハードカバーの本の寒冷紗の取り替え	1
5.3 R1	2022/9/19	糸綴じ絵本の修理で気を付けたいこと	3
5.4 R3	2022/8/1	A方式、糸綴じ絵本の分解修理の手順	2
5.5 R2	2022/10/8	B方式、糸綴じ絵本の分解修理の手順	3

5.6 R4	2022/10/9	C方式、単独折丁の絵本の分解と糸綴じ修理	2
5.7 R1	2022/7/25	複数糸でのジグザグ糸綴じ	1
5.8 R2	2022/8/8	ジグザグ糸綴じのパターンの事例	10
5.9 R2	2022/12/17	糸綴じ絵本の修理に使うレース糸とミシン糸	2
5.10 R3	2022/7/28	糸綴じ修理の糸の数の目安	2
5.11 R1	2022/7/30	寒冷紗の必要な巾とそれを貼る位置	2
5.12 R1	2022/7/26	複数折丁で糸綴じ穴の位置が違う！	1
5.13 R2	2024/2/11	第3回 修理講習会、複数折丁と単独折丁の糸綴じ	2
5.14 R1	2022/10/10	手間を省く糸綴じの修理方法	1

「本の修理ガイド」新規作成手続き

2023-12-19、東海村立図書館、本の修理ボランティア 佐藤健治

1. はじめに

修理作業の具体的手順等を解説した「本の修理ガイド」は、本の修理ボランティアのメンバーにとって修理の技術ノウハウを共有するもので、本の修理ボランティアの方々が蓄積してきた貴重な財産です。この文書は、ボランティア室に備え付けのマスターファイルに綴じられている他、東海村電子図書館でも閲覧出来ます。（開設準備中）

「本の修理ガイド」を更に充実するために新規作成や見直しも必要で、新規の作成や見直し作業を歓迎します。このガイドは、「本の修理ガイド」を初めて作成される方を念頭にその事務的な手続きを紹介するものです。

2. 用紙

A4 サイズ縦向きとし、文章は横書きとします。

3. 書式

（1）ヘッダのデザイン

ヘッダのデザインは、原則として本ガイドのデザイン（図 1 参照）に統一して下さい。即ち、第 1 ページについては、下記 3 行とし、第 2 ページ以降は、1 行目のみとします。

1 行目：資料 No.、改訂履歴、ページ

2 行目：タイトルで背景色を青とする

3 行目：発行日付、作成者氏名

上記のヘッダー設定には WORD 版があります。利用したい方は、近くの作成経験者に相談して下さい。資料 No.については、既存の修理ガイドを参照して作成者自身で分類を判断し、枠取りします。

第 1 図 ヘッダのデザイン（第 1 ページ）

(1 行目)	本の修理ガイド No. 0.3 R0 (1/2)
(2 行目)	「本の修理ガイド」タイトル
(3 行目)	2024-xx-xx、東海村立図書館、本の修理ボランティア 作成者氏名

(2) 作成方法

原則として WORD で作成しますが、手書きでも構いません。手書きの場合でも、ヘッドは、出来るだけ第 1 図のデザインを用います。

(3) 文字サイズ

WORD 文書の場合、フォントサイズ（文字の大きさ）は 11 とします。手書きの場合もこれに準じます。

4. 査読

(1) 特段の義務ではありませんが、作成経験者に読んで貰うといいでしょう。

(2) パブリック・コメント：ボランティア室の所定の場所に約 2 週間掲示して、皆さんのコメントを求めます。意見を反映して最終版とします。

5. ボランティア室内マスターファイルに登録

(1) 前項の査読を終えた文書は、ハードコピー1部をマスターファイルに綴じます。

(2) 作成経験者間で共有されている目次のデジタル EXCEL 版があります。近くの作成経験者に依頼するか、自分で EXCEL 版目次を改訂し、マスターファイルの目次を新たなハードコピーに差し替えて下さい。自分で改訂した場合は、共有者にもデータをメールして下さい。

6. 図書館に登録

(1) 作成された新規「修理ガイド」は、東海村電子図書館に掲載するための一次原稿として図書館の担当者に提出する必要があります。

(2) 提出方法は、作成された WORD 文書か、その PDF 版を図書館指定の e メールアドレスに送信するか、またはハードコピーで提出するか（手書き原稿等）の何れかによりますが、その都度、図書館の担当者と相談して決めて下さい。

以上